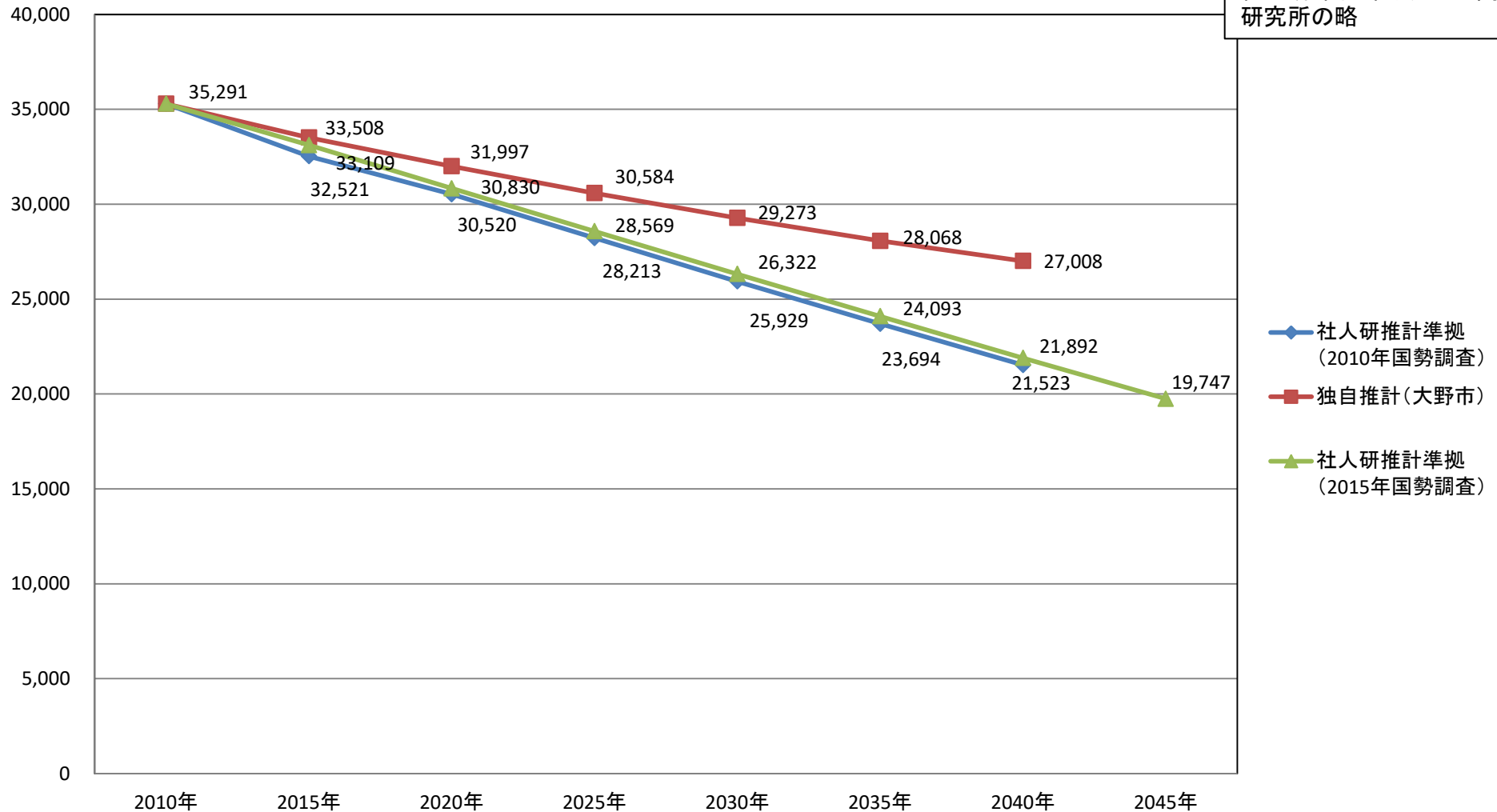


# 大野市人口ビジョン

## 人口の将来展望の推移

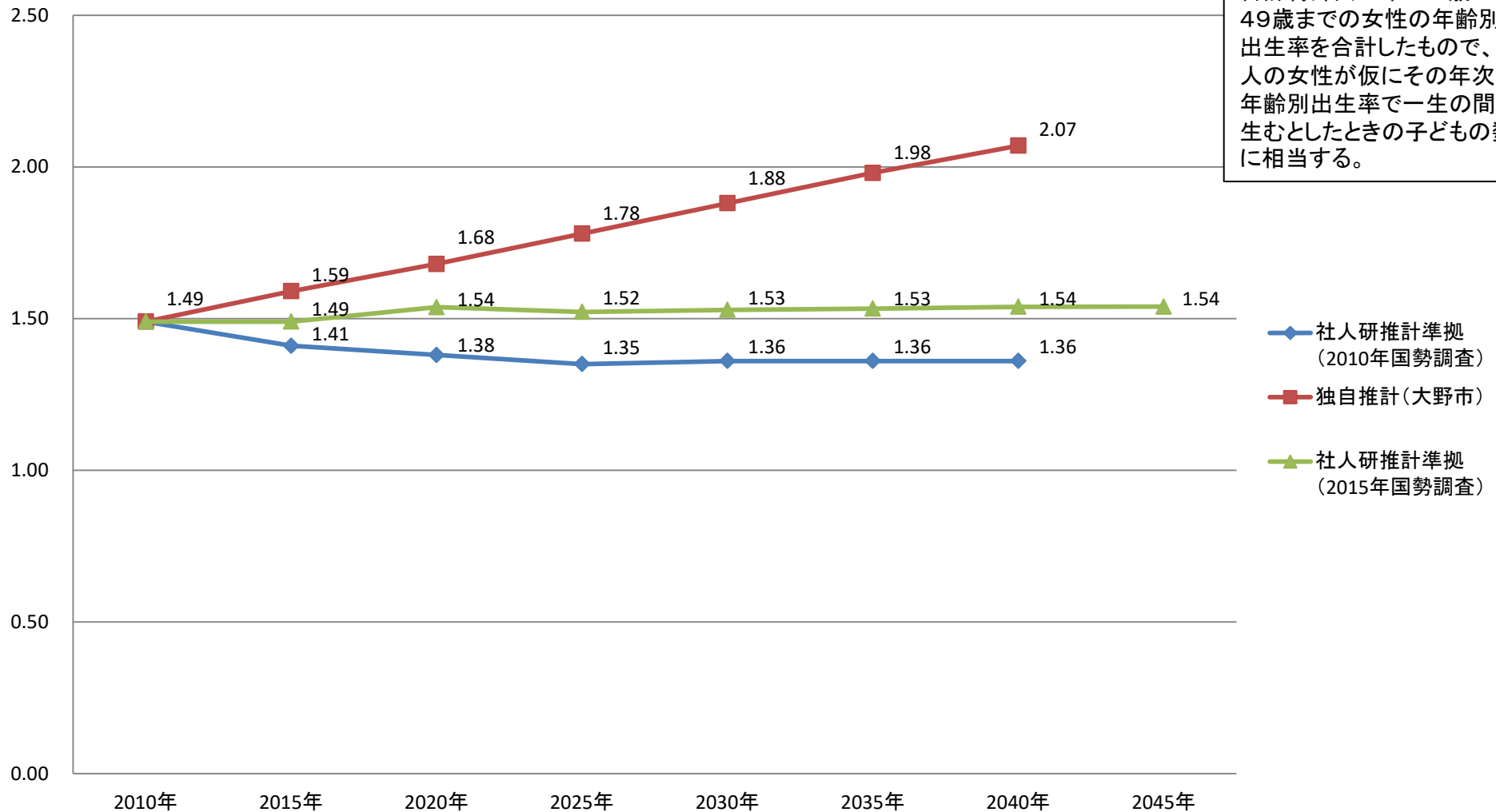
# 総人口

社人研: 国立社会・人口問題  
研究所の略



- ・ 大野市総合戦略に基づく人口減少対策などにより、最新の社人研推計準拠の推計値は、現在の人口ビジョンの推計値（青のライン）よりも若干上向いているが、2020年時点で目標値（赤のライン）を約1,000人下回っている。
- ・ 2020年4月1日現在の推計人口は**30,862人**で、最新の社人研推計準拠の推計値（値緑のライン）とほぼ一致する。
- ・ 人口減少率は、県内自治体の中でも高い部類に入る。

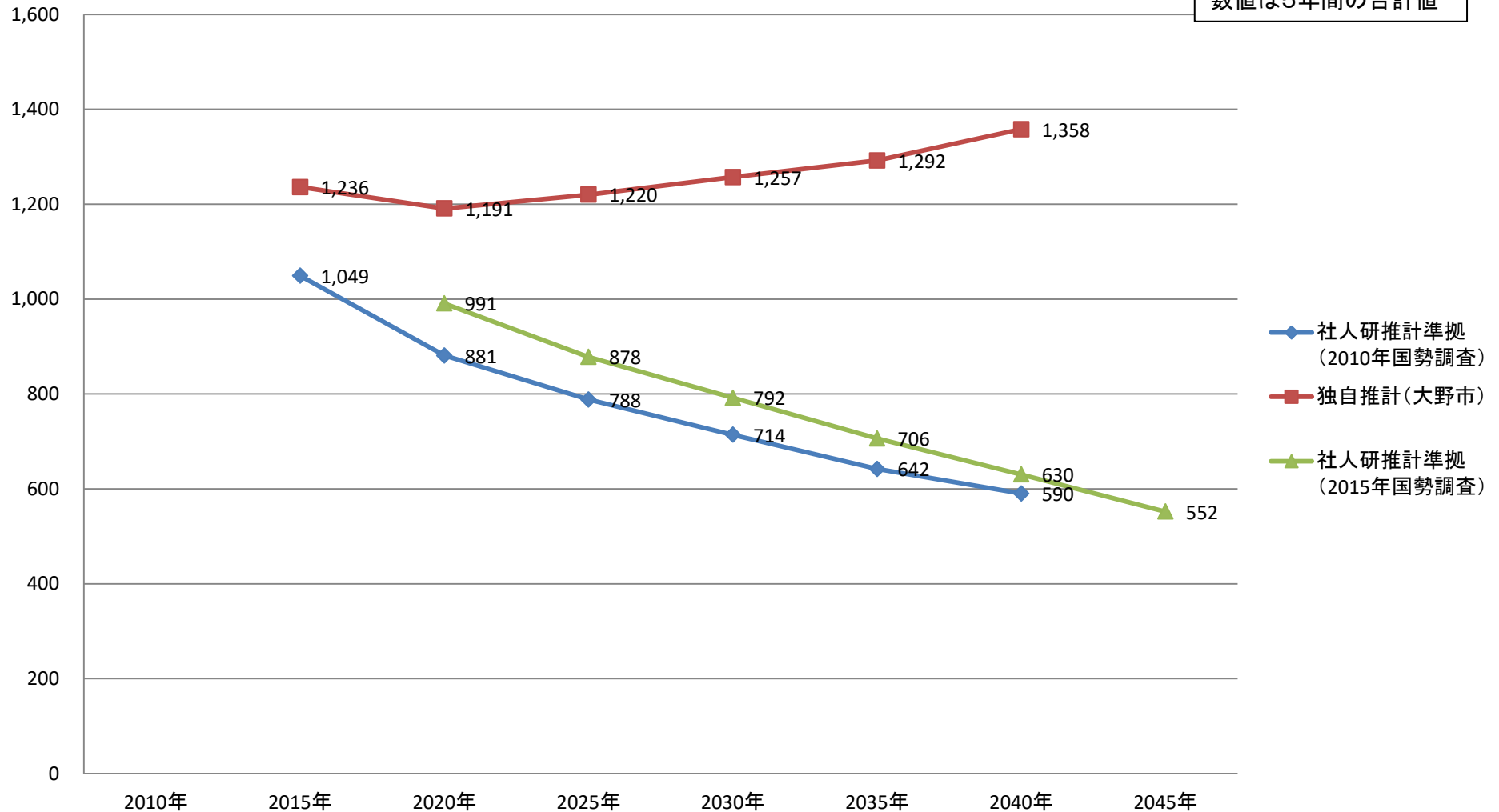
# 合計特殊出生率



- ・最新の社人研推計準拠の推計値値（緑のライン）は、現在の人口ビジョンの推計値（青のライン）を上回り、1.5台で推移すると予測。
- ・2018年の合計特殊出生率は1.66で、現在の人口ビジョンの推計値（青のライン）や最新の社人研推計準拠の推計値値（緑のライン）よりも上回っているが、目標値（赤のライン）のような上昇傾向には至っていない。
- ・2015年以降、福井県の合計特殊出生率は1.6台で推移しており、大野市の率は低い部類に入る。

# 出生数

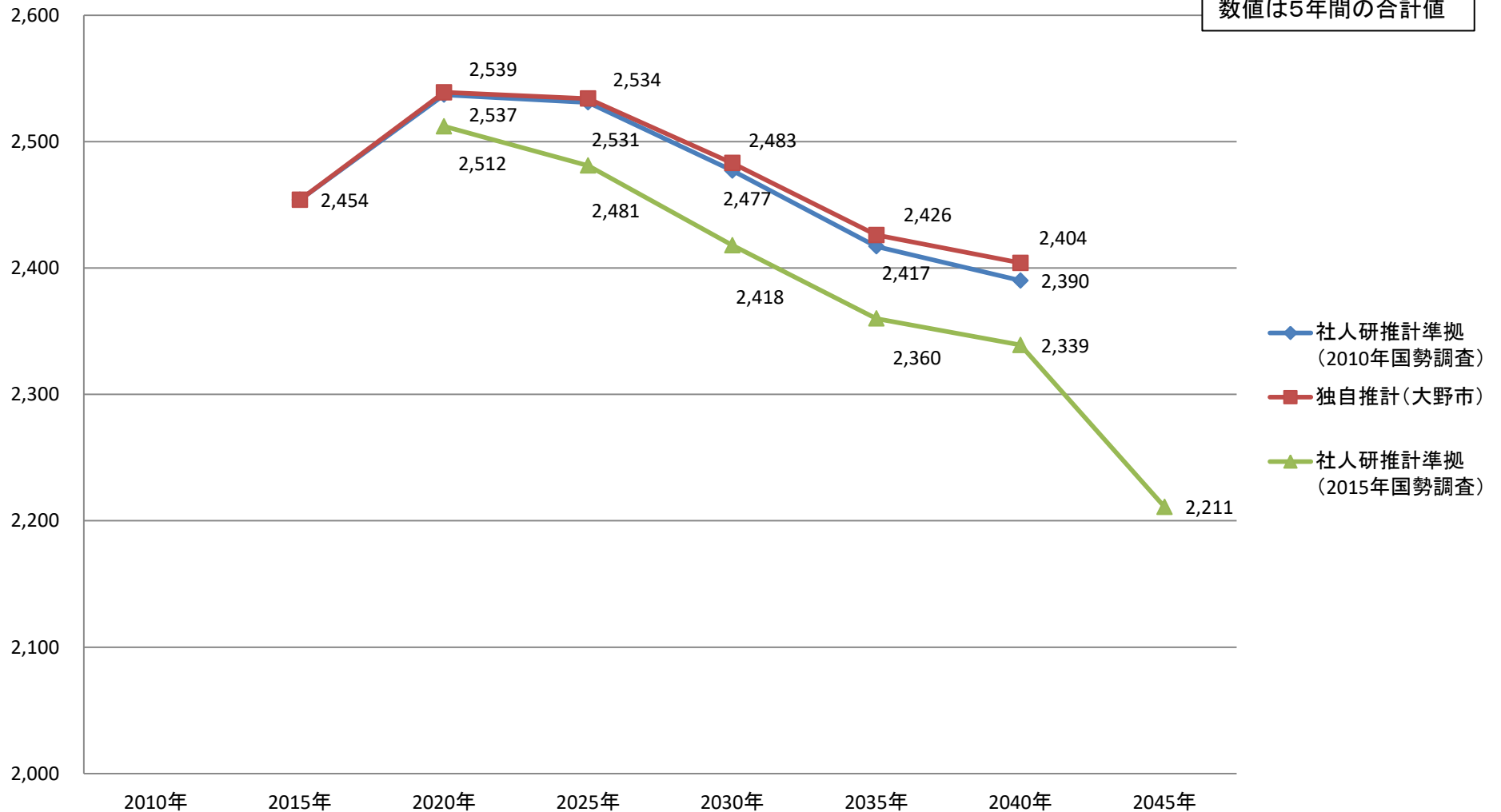
数値は5年間の合計値



- ・大野市総合戦略に基づく人口減少対策などにより、最新の社人研推計準拠の推計値（緑のライン）は、現在の人口ビジョンの推計値（青のライン）よりも若干上向いているが、出生数の減少傾向は続くと予測される。
- ・2020年の目標達成には、年間約240人の出生数が必要であるが、福井県の推計人口（2019年10月1日現在）によると、近年の出生数は226人（2015年）、208人（2016年）、185人（2017年）、203人（2018年）、166人（2019年）と、200人を下回る年もある。

# 死亡数

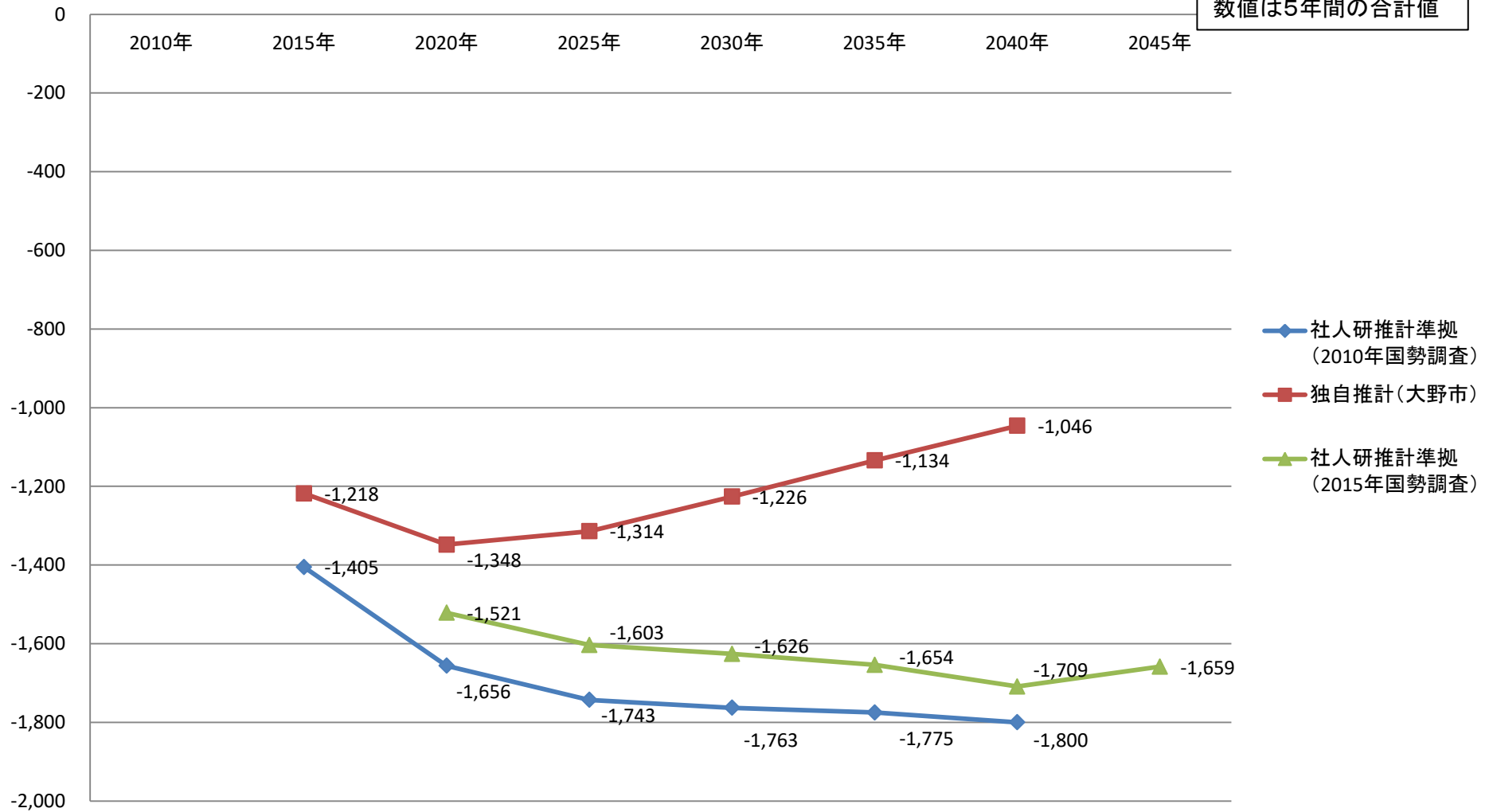
数値は5年間の合計値



- ・最新の社人研推計準拠の推計値（緑のライン）は、現在の人口ビジョンの推計値（青のライン）や目標値（赤のライン）よりも死亡数が減少すると予測。
- ・現在、高齢者数のピーク期にあるため、今後は高齢者数の減少に伴って死亡数も減少していく見込み。
- ・福井県の推計人口（2019年10月1日現在）によると近年の死亡数は483人（2015年）、501人（2016年）、518人（2017年）、456人（2018年）、549人（2019年）となっている。

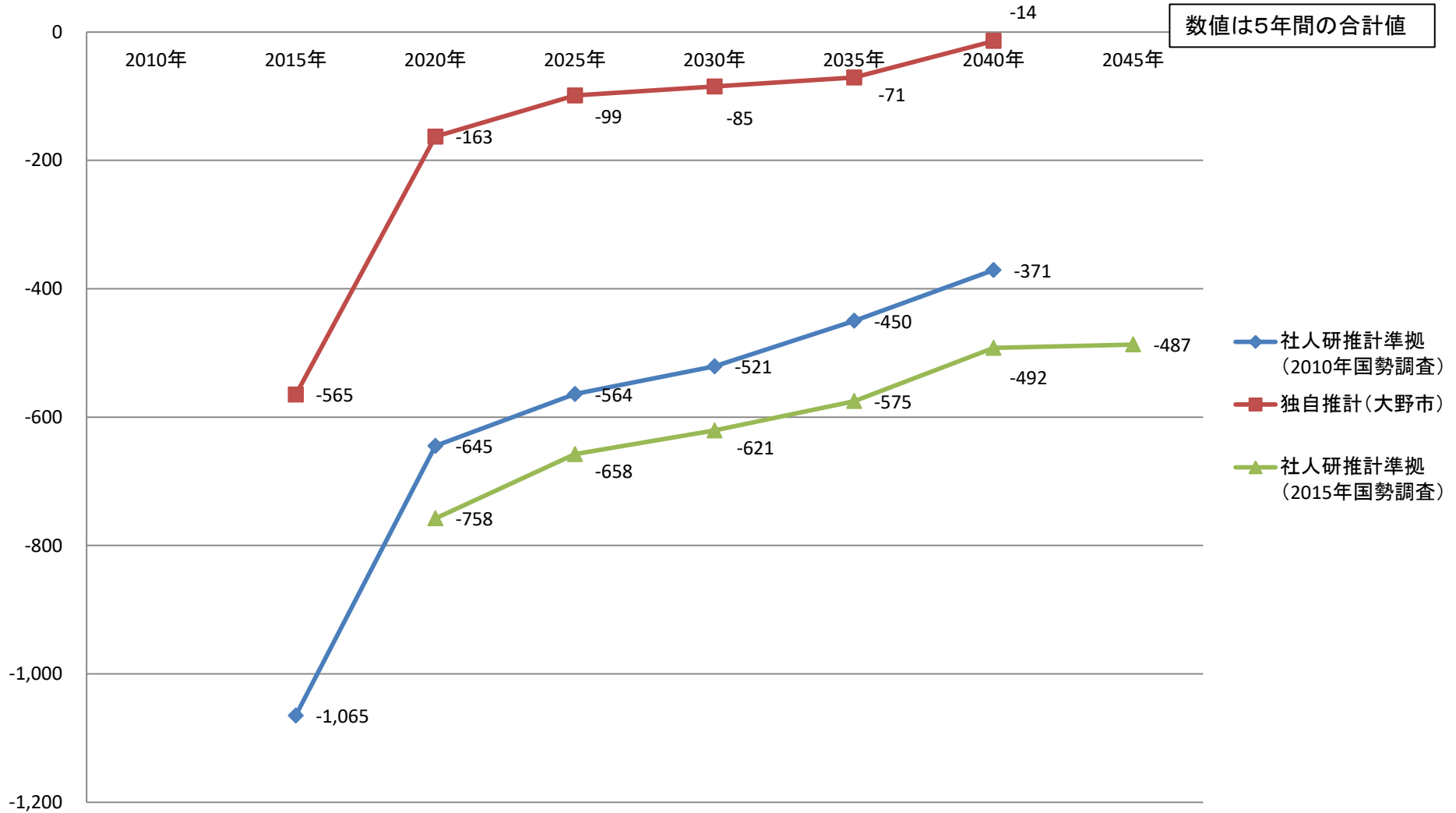
# 自然増減数

数値は5年間の合計値



- ・最新の社人研推計準拠の推計値（緑のライン）は、今後も自然減少は緩やかに拡大傾向が続くと予測。
- ・福井県の推計人口（2019年10月1日現在）によると、自然動態は-383人。
- ・死亡数が現在ピーク期を迎えている一方で出生数の減少が進行しているため、自然減少に歯止めがかからない。

# 社会増減数



- ・最新の社人研推計準拠の推計値（緑のライン）は、今後の社会減少は緩やかに縮小傾向が続くと予測。
- ・福井県の推計人口（2019年10月1日現在）によると、社会動態は-180人。
- ・県外からの転入数と県外への転出数はほぼ同数なので、県内他市町への転出数が多いことが転出超過の原因。

# 人口ビジョンおよび総合戦略の見直しの検討課題や方向性

- ・ 自然減少の原因となっている出生数の減少を如何に抑えるか。
- ・ 社会減少の原因となっている県内への転出をはじめとする若者の流出を如何に抑えるか。

上記の対策を次期大野市総合戦略で示すとともに、  
現行の人口ビジョンに示す下記の事柄について検討

- ・ 国や県では、2040年の合計特殊出生率の目標値2.07を堅持する方針としている中、大野市の目標値をどのようにするか？
- ・ 社会増減を社人研推計より100人増やすとしてきた現在の目標値をどのようにするか？

上記の検討を通して、現行の目標人口について、どうすべきかを決定

【現行】 2040年の定住人口：27,000人  
→ 【次期】 20●●年の定住人口：●●, ●●●人